

# TAKE OFF! いんくる通信 No.15

あなたのはたらきたいをかたちに 社会福祉法人武蔵野 ジョブアシストいんくる

## ◎政府機関の雇用率水増しに思う

先日、国の機関で長年にわたり障害者雇用率の水増しが行われてきたことが報道されました。それを受けて、国は2019年未だに新たに約4000人の障害者雇用を達成することを発表しました。

これは障害者雇用市場全体への影響も大きく、求人が20%増しになるほどの数値だとの試算もあります。雇用率が毎年のように見直される中、その充足に地道に努力を重ねてきた企業にとってもその採用活動に大きな余波を被ることになります。

障害者雇用に積極的な大企業も戦々恐々とするなか、まずは「国家公務員試験障害者採用試験」が実施されることが示されました。(下部記事参照)内容をみると、確かに公務員の安定性や待遇面での優位性があり、多くの人にとっては魅力的な選択肢であることは間違いありません。ただし、採用予定事業所は全国に散在し、勤務環境、仕事の内容がいまひとつ明らかでない中、2次試験を経て、採用までの過程でどのようにマッチングがはかれるかを冷静に見極める必要があります。

この採用試験では、全国の政府関係機関の採用により700人弱の雇用を賄う予定だそうです。まだまだ4000人にははるかに足りない状況です。今後、さまざまな方法で障害者の雇用を進めていくことになると思われますが、単に試験の成績が優秀な順に採用するのではなく、適切な障害者雇用が推進されるような取り組みが期待されます。公機関として果たすべき責務と役割りを踏まえ、求められる障害者雇用の姿があると思います。(鈴木)

## ◎障がい者の就労を考えるつどい 2018

毎年武蔵野市・三鷹市・ハローワーク三鷹が合同で開催している、「障がい者の就労を考えるつどい 2018」が、10/31(水)に武蔵野スイングホールで行われました。今年もご利用者の皆さんにご案内したところ、9名の皆さんから参加表明があり、私も一緒に参加させていただきました。

今年は「見えにくいニーズを見える化するには」ということで、支援や配慮に関わるニーズが見えにくい、精神障害、発達障害、高次脳機能障害のある方などのニーズをわかりやすくするために、当事者の方・企業の方・支援者がそれぞれ準備できることは何かを考えるというのがメインテーマでした。タイムリーなテーマだったこともあり、当日会場は多くの参加者で賑わっていました。

最初にハローワークの方から、障害者雇用に関する各種データから読み取れる、障害者雇用の動向について説明があり、障害者雇用率の上昇に伴う雇用者数の増加などが話題に上がっていました。

また、職業センターの主任カウンセラー、ハローワークの相談員、企業の障害者雇用担当の方からそれぞれお話があり、見えにくいニーズを見える化するために必要なポイント、企業での実践等についてお話がありました。その後のパネルディスカッションでは、会場のいんくるのご利用者からの発言もあり、活発な意見交換がなされました。

参加されていた方々は時折メモを取りながら、熱心に話を聞いていました。ここで聞いた話を日頃の活動に活かしていくのがよいかと思いますが、具体的な方法については、私たち職員も一緒に考えていきたいと思っています。(後藤)

## 国家公務員試験障害者採用募集開始

国関係機関の障害者雇用率水増しの発覚を受け、国は2019年度未だに新たに4千人の障害者雇用をおこなうことを決定しました。これを受けて先日「国家公務員障害者選考試験の概要」が人事院から発表されました。採用予定人数や勤務場所なども発表され、報酬金額や1次試験の例題などが示されています。興味のある方、詳しい資料など希望される方は担当職員までご相談ください。

受験申込期間は2018年12月03日(月)から12月14日(金)までと限られています。相談のある方はお早めに担当職員までお願いします。

採用情報は以下のURLでも公開されています。

<http://www.jinji.go.jp/saiyo/siken/senkou/senkoushiken.htm>

## ◎就活プログラム紹介-『事務補助実践講座』

いんくるではご利用者が就職に向け力をつけていけるような様々なプログラムを用意して提供しています。事務職を目指している方や、希望職種を検討している方を対象に、9月から「事務補助実践講座」を始めました。

事務職と一言で言っても仕事の内容は多彩です。データ入力や集計は他にプログラムを用意しておりますので、ここでは、書いて、切って、折って、貼って等、事務職として働くことになれば必ず発生するであろう基本的な作業を「封筒作り」を通してスキルアップを目指しています。

あらかじめ用意した封筒のフォーマットに型紙で糊代をつけ、貼り合わせの位置も中央になるよう調整し、線の上をずれないように折り込むなど、丁寧に作り上げていきます。また、「省きたい」「順番を変えたい」ということがあっても、相談なく自分のやり方に変えることはせず“手順書に書かれているように正しく行う”訓練もこの作業を通し行って頂いています。出来上がった封筒は、テイクオフやお便り等をご利用者や関係施設に送る際に実際に使っており、今月のテイクオフも、この封筒に入れて送らせて頂いております。どうぞ、出来映えをご覧頂ければと思います。

今月からはこの封筒に宛名書きを始めました。今後はこれらを材料に仕分けの訓練をしたいと考えており、まだまだ進化中のプログラムです。(猪狩)



## ◎武蔵野市総合防災訓練より

10月28日に武蔵野第4中学校をメイン会場に武蔵野市総合防災訓練が開催されました。武蔵野障害者総合センターではそれと連携する取り組みとして福祉避難所の開設訓練が行われました。

地震などの大規模災害が発生した場合はセンターが障害のある方の避難所として開設されます。避難に当たっては、身体障害に限らず、知的障害、自閉症、精神障害などの様々な障害のある方にとってそれぞれ必要な環境があります。そうした障害に対応した避難所を福祉避難所と言います。避難所の運営、避難者の受け入れには「トリアージ(特定の基準に従い、優先順位を決めること。)」という視点が必要になります。救命を主眼に置いた医療面でのトリアージはかなり浸透していますが、最近では福祉トリアージという考え方が取り入れられてきています。視覚障害、聴覚障害、自閉症など環境刺激に過敏な方、様々な方が少しでも適切な環境で避難生活を送れるようにするには、その方の状況をア



セスメントし、適切な環境の選択が欠かせません。今回の防災訓練ではその福祉トリアージのロールプレイが実施され、法人の職員が実際にトリアージを体験する機会を持ちました。今後は地域の中で日ごろの経験と知識を生かし、様々な役割を果たしていけることを目指します。こうした取り組みは、地域の社会福祉法人としての責務であると考えます。

武蔵野市長の視察や、福祉公社職員や近隣病院の訪問看護スタッフなど支援にかかわる方々の見学もあり、その関心は高いものがあることを実感する訓練でした。(鈴木)

## ◎最低賃金引き上げに伴う変更

平成30年10月から最低賃金が985円に引き上げられました(東京都)。それに伴い、いんくるでは訓練手当の時間単価を320円から330円に引き上げます。10月分(11月支給)より新単価での支給になります。また、企業実習時の訓練手当も300円から330円に引き上げます。こちらは11月の企業実習から適応されます。訓練手当の支給等についての詳細は担当職員にお尋ねください。

## ◎平成30年度 就職者の状況

平成30年度4月から10名が企業に就職しました。

- Aさん 株式会社アグレックス 様
- Bさん 三井物産パッケージング株式会社 様
- Cさん 株式会社神戸屋練馬工場 様
- Dさん 株式会社東洋冷蔵 様
- Eさん 西村あさひ法律事務所 様
- Fさん オリックス生命株式会社 様
- Gさん アブラックハートフルサービス 様
- Hさん SOMPO チャレンジド(株) 様
- Iさん (株)コーエイリサーチ&コンサルティング 様
- Jさん (株)吉増製作所 様

平成25年6月の開設以来、累計就職者は54名になります。

テイク オフ! いんくる通信 No.15 2018.11.01

社会福祉法人武蔵野 ジョブアシストいんくる

〒180-0006 東京都武蔵野市中町1-28-10

電話 0422-50-1701 Fax0422-50-1702

e-mail incl@fuku-musashino.or.jp

URL <http://fuku-musashino.or.jp/syougai/syougai-07.html>